



学校だより

5月号

令和8年4月30日

相手意識が人を成長させる

校長 西口 公恵

4月16日（木）の「1年生を迎える会」では、各学年から1年生に向けて、歌やリコーダー、ソーラン節、校歌や花の種のプレゼントがありました。どの学年も心を込めて気持ちを届け、1年生も体を揺らしながら聴いたり「ありがとう」と気持ちを伝えたりと、とても嬉しそうにしていました。全校の皆で入学をお祝いし、「ようこそ中丸小学校へ。何でも聞いてね。」と1年生への思いが溢れるとてもいい時間でした。

4月21日（火）には、各委員会の委員長さんにバッジを渡す会があり、委員長としての意気込みを一人ひとりが語ってくれました。どの子のスピーチも大変素晴らしく、今年一年間、自分がどのように委員会を運営していきたいかという思いや、笑顔溢れる中丸小学校にしたいという気持ちを堂々と発表していました。どの子からも、「自分たちが学校を創っていくんだ。」という意気込みが伝わり、大変頼もしかったです。

また、6年生は毎日1年生の教室に行き、朝の支度や掃除の手伝いを行っています。6年生が腰をかがめ、目線を合わせて話をしていたり、手を引いて場所を教えてあげたりする姿は大変微笑ましいです。東京見学の日は、「6年生の代わりに1年生の教室に手伝いに行してほしい」と5年生に頼みに行ったそうです。その頼みを受けた5年生も「それならば」と粹に感じて大勢で1年生の教室に行き、一生懸命に手伝いをしていたそうです。

新学期が始まって一か月、子どもたちは新しい役割や立場となり、自分自身がどのように相手と向き合えばよいのか、どうやってよりよい学校にしていけばよいのかを一生懸命に考え、行動に移そうとしています。役割を担うということには責任が伴います。相手のことも考えなければなりません。しかし子どもたちはそれ以上に「頼んだよ、6年生！」「よろしくね、5年生！」と期待されている喜びや、自分が誰かの役に立っている、感謝されて嬉しいという自己有用感を感じているのだと思います。まだひと月しか経っていませんが、相手意識をもつことで、子どもたちはこれほどまでに力強くたくましく成長していくのだということに改めて感じた4月でした。5月からはよいよ遠足や宿泊体験学習が始まります。保護者の皆さま、地域の皆さま、今年度も本校の教育活動にご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。